



蒲生高校だより

第10巻 第2号 (通巻第29号)

発行日 平成23年12月22日

鹿児島県立蒲生高等学校

鹿児島県始良市蒲生町下久徳848-2

電話 0995-52-1155(代) FAX 0995-52-1161

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/

元気・パワーを発信せよ

東日本大震災の発生から9か月が過ぎ、絆の重みを感じるとともに、私たちが何不自由なく、何気なく過ごしている学校生活や日常生活のありがたさに感謝し、活力ややる気をいただいた年でもありました。蒲生高校でも体育祭や大楠祭(文化祭)等の各種行事が行なわれ、共に笑い、涙する場面も多々ありました。一人ひとりがそれぞれの持ち味を生かし、集団として、また、個人として力を発揮しました。

人は積極的に行動した分だけ感動を得ることが出来ます。そして行動しなかった場合と比べると、行動した後悔の方が大きな成長へと繋がります。感動を得て悔いを残さないためにも、『蒲生高生よ、失敗を恐れず、もっともっと多くのことに挑戦し努力せよ。そして元気・パワーを発信せよ』とエールを贈ります。

たくましく成長し続ける蒲生高生の姿をここにご覧いただき、今後とも励ましの言葉をいただけるとありがたいです。

教頭 土持 正三

競い合う体育祭

9月10日(土)



応援団リレー



綱引き



台風の日



1年生(赤組)応援団

天候が気になる日程でしたが、秋晴れのなか3年生を中心に全校生徒が一丸となって、すばらしい体育祭が行われました。

緑組・黄組・赤組と最後まで大接戦でしたが、緑組3年生が競技・応援の部ともに獲得し総合優勝を果たしました。



3年生(緑組)応援団

始良市を飾る特別賞

「始良市の魅力」をテーマに募集されたフラッグアートフェスタ(デザイン部の部)で、大村麻衣さん(情3-3 帖佐中)が受賞しました。作品は街路灯のフラッグに制作され、12月1日~1月31日に掲出されます。



大村 麻衣さん



風神雷神図(情2-4)



劇(情3-3)



階段アート(全生徒)

ダンス(普3-2)

笑顔と感動をここから!

~私たちの力を日本に~(大楠祭テーマ)

〈テーマソング〉「道」

作詞・作曲 吉村 友希(情3-4 加治木中)

編曲 倉富 亨康(情3-3 帖佐中)

最優秀賞

普3-2 ダンス「ルパンとゴリエと時々友愛」

各部門賞

展示部門 情2-4 砂絵「風神 雷神」

バザー部門 普2-2 からあげ串・肉まん・ジュース

ステージ部門 情3-4 劇「3D卒業」

審査員特別賞

普1-1 (展示) 蒲生高校ジオラマ

情2-3 (バザー) カレー・カツカレー

2日間に渡って、日頃から生徒が学校生活内外で一生懸命取り組んでいる成果が、ステージ・展示・バザーそれぞれの分野で存分に発揮され、すばらしいものとなりました。また、生涯学習県民大学受講生のオカリナ演奏や職員による劇など、生徒以外の参加もあり、テーマの

とおり、みんなの力が蒲生高校から伝わる感動の大楠祭でした。



ダンス(普3-2)

バドミントン部 秋季始良・伊佐地区体育大会

男子団体 第2位

男子共通シングルス 優勝

田中 将明(情2-4 吉田南中)

ワープロ部 九州地区高等学校ワープロ競技大会

ワープロ技能の部 団体 第3位

個人 第3位 樋渡さよ子(普3-2 帖佐中)

鹿児島県高等学校ワープロ競技大会新人戦

ワープロ技能の部 団体 優勝

個人 優勝 吉留 彩華(普2-2 吉田北中)

第4位 杜柳 祈里(普2-1 吉田北中)

吹奏楽部 第59回鹿児島県吹奏楽コンクール 銀賞

活躍の記録

部活動大会成績

県高校音楽コンクール 木管楽器部門

銀賞 倉富 亨康(情3-3 帖佐中)

写真部 第18回鹿児島県高等学校写真展

30点出品し、3点が入賞。

うち写真専門部賞 市屋 静代(情2-4 山田中)

書道(授業作品) 第42回高校書道展

秀作賞 中村洋之進(普1-2 帖佐中)

優良賞 榎田光加里(普1-2 山田中)

松島 海峰(普2-2 蒲生中)

美術部 第62回鹿児島県高校美術展

奨励賞 岩山翔太郎(情2-4 帖佐中)

第60回鹿児島県家庭クラブ研究発表大会

始良・伊佐地区代表 テーマ「我が家の家庭クラブ活動」

谷口 絵梨(普2-2 吉田北中)、米谷 隆一郎(普2-1 鶴田中)



「君にも、僕にも」

校総合文化祭写真部門に出品できにりました。

県高校写真展 写真専門部賞 全国大会派遣

「花かごしま」の会場で見つけたホオズキのオブジェの輝きに魅かれてシャッターを切りました。血脈の鼓動が聞こえそうだと「君にも、僕にも」と名づけた作品は、県内421点応募中、上位8点に入賞し、来年の全国高校総合文化祭写真部門に出品できにりました。

市屋 静代さん
(精2-3 山田中)

県作文コンクール特選

特選 出水 美里(精2-4 帖佐中)

入選 東村 梓(精3-2 羅生中)
小濱望由季(精1-1 羅生中)

夏休みの課題作文の中から、各学年一編ずつ選出し応募しました。出水美里さんは、殺処分になる運命の動物の命を一つでも多く救おうと、「救いたい一つの命」と題して、社会的提言や思いを述べました。特選作品は12月に発行される、県の作文集「かごしま」に掲載されます。

出水 美里さん
(精2-4 帖佐中)植塚さよ子さん
(精3-2 帖佐中)

県高校弁論大会 優秀賞

参加高校15校の中で最後に弁論しました。「農業を引き継ぐ」という演題で、卒業と同時に滋賀県の農園に就職し、現代の若者らしい問題意識を持ちながら、日本の農業を引き受けていく決意を訴え、賞状と楯をいただきました。

いっしょうけんめい

2年生 職場体験

3日間という限られた時間の中で、生徒たちは多くのことを学びました。保育士という自分の夢がより明確になった人、高齢者施設で出会ったお年寄りと向きながら別れを惜しんだ人、働くことの厳しさを実感し親への感謝を新たにした人など、事業所によってその内容は様々ですが、どの生徒の表情も生き生きと輝いていました。



貴重な機会を提供して下さった各事業所の皆様に心から感謝いたします。

蒲生のお宝さがし

情報処理科「ウォークラリー」 8月27日(土)



クイズで運る

性化につなげようと、生徒が企画したものです。「不思議の町、蒲生に眠るお宝を探せ!」と題して、伝説体験、歴史体験、商店街散策の3コースを設定、クイズや劇、読み聞かせを交え、蒲生の良さを伝えました。

生徒たちが蒲生町について深く知ることができたことはもちろんですが、後援の依頼を快く引き受けてくださったり、特産品を提供していただくなど、多くの方に支えられて、成功につながりました。(H.23.8.31 南日本新聞に掲載)



関係したみなさん

迫力 ナマの女性ボーカル

芸術鑑賞会

10月21日(金)

CocoRo*Co (ココロ*コ) さんによるゴスペル演奏を堪能しました。スピリチュアルな歌声と美しいハーモニー、そしてユニークなステージトークに体育館も大盛り上がり。本校生徒との合同演奏「Oh Happy Day」を含む全13曲を通して、ゴスペルの世界を全身で感じることができました。



歌ったり、踊ったり、体育館が笑顔でいっぱいになりました。最後は子どもたちからお礼に「線路は続くよどこまでも」の全員合唱をプレゼントしていただきました。

演奏会の後、子どもたち全員からお礼のことばが綴られたあたたかいメッセージをいただき、吹奏楽部員にとっても大きな励みとなったようです。これからの吹奏楽部のさらなる活躍に期待! (H.23.11.6 南日本新聞に紹介)

吹奏楽部出演

三船小学校音楽鑑賞会

10月30日(日)

三船小学校からの依頼を受けた吹奏楽部16名が、今年流行した「マルマルモリモリ」など7曲を演奏しました。動きのあるマーチングや、各楽器の特性を生かした楽器紹介など、小学生に喜んでもらえるように部員全員で様々な工夫を凝らしたステージを展開。三船小学校の子どもたちは、吹奏楽の演奏に合わせて、

<メッセージの一部>

わたしはトトロのえんそうがすごくきれいだとおもいました。わたしもがっきをひきたいです。またきてください。

(小1年生 M)

PTA親子ふれあい清掃

8月27日(土)



残暑の中、保護者の方約150名を超える人数が集まり、皆さん時間いっぱい取り組んで下さいました。体育館に向けて快適なグランド整備になり、生徒たちもありがたく感謝していました。

生涯学習県民大学

オカリナで舞台へ

学校の持つ人的・物的教育機能を活かし、地域に開かれた場とする「生涯学習県民大学」が、今年度は美術と音楽を提供し、15人が受講しました。9月7日開講し、前半は美術の米倉先生指導による「絵馬」作成。そして後半に使う伝統楽器「オカリナ」の給付け・色塗り。後半は音楽の杉園先生指導による「歌唱とオカリナ演奏」。秋の夜はもう真っ暗でしたが、懐かしい日本の名曲などにも触れながらの、毎回楽しい2時間でした。10月26日までの8回を卒業したところで、11月3日、大楠祭の舞台に立って、3曲を披露し、拍手を浴びました。



教育相談をご活用ください

臨床心理士の先生が月2回(金・土)来校し、様々な相談に対応して下さいます。生徒はもちろん、保護者や先生方もOKです。1日に4人。学校の先生や親にも言えない思いや苦しみなど、話してみてください。申し込みは、担任や係の先生へ予約を。